

事業番号	11 05 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	良好な河川環境の保全に取り組む事業		部局	建設部	課・室	河川課
			実施期間	M14～	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	県民の豊かさ全国トップクラスを維持					
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化 4-5 地球環境への貢献					

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<p>【現 状】</p> <p>○近年頻発する豪雨で毎年水害が発生する一方で河川整備率が40%未満で横ばい状態である現状を踏まえ、ハード・ソフト両面から総合的な減災対策を進めていく必要がある。</p> <p>○厳しい財政状況の下、長期的視点に立った維持管理により、既存の社会資本の有効活用を進める必要がある。</p> <p>【目指す姿】</p> <p>○水害を未然に防ぐとともに、水害が起こった際に被害を最小限に抑えるため、ソフト・ハード両面から計画的な対策等を進め、地域防災力の向上を目指す。</p> <p>○豊かな自然と美しい景観あふれるまち・むらづくりを目指すため、未来を見据えた社会ストックの有効活用を図るとともに、豊かな自然環境を活かした多自然川づくりを推進し、河川環境の保全を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <p>ダム等河川管理施設の改修及び維持管理 など</p>
-----------------------	---

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]

No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
								前年度繰越	98,004	56,384	
1	想定最大規模降雨での浸水想定区域図の作成	6河川	32河川↗	34河川↗	34河川	達成		予算額	現計予算	1,071,395	1,681,257
2								合計(A)	1,169,399	1,737,641	
3								うち一般財源	28,741	80,179	
4								決算額(B)	1,155,576	774,937	
								職員数(人)	51.65	51.65	

成果指標設定理由	①減災のためのソフト対策の目安として設定した。
達成状況の分析	①想定浸水区域図の作成について、計画的な事業実施により令和元年度末までに全ての法河川において公開することができた。

主な取組	<p>✓法河川における浸水想定区域図の公開</p> <p>・34の法河川全ての浸水想定区域図の作成及び、公開。(34河川)</p>	 <p>河川一斉パトロール</p>	 <p>無線局の更新作業</p>
	<p>✓河川愛護活動</p> <p>・県内河川の一斉パトロールにより、河川の清掃を行いました。(145河川、回収廃棄物2.76t)</p>		
	<p>✓無線局の更新</p> <p>・県内の雨量局、水位局等の施設更新。(42局)</p>		

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	①大河川以外での浸水想定図の作成およびハザードマップ作成支援が必要。	①中小河川での浸水想定区域図の作成を実施する。

事業番号 11 05 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） □当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検

事業名	良好な河川環境の保全に取り組む事業	部局	建設部	課・室	河川課
-----	-------------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
1	治水・利水対策推進事業費	8,586 千円	3,467 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	流域検討協議会等	直接	流域協議会として現場見学会を開催した(砥川)。流域協議会を開催した(上川)。(2協議会実施、)
2	ダム事業の検証	委託	角間ダム事業計画の検証について、水利団体及び関係市町村と打ち合わせを行った。(10月)

細事業 No.	細事業名	H30年度 決算	R1年度 決算
2	河川一般管理費、諏訪湖等管理費、河川調査費、治水・利水ダム等関連費、ダム管理費、水防管理費	1,146,990 千円	771,470 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)
1	河川巡視員設置	直接	県下9建設事務所に配置し、河川管理施設の損傷等や廃棄物投棄の状況等の確認及び情報収集を実施した。
2	釜口水門に係る維持管理等	直接	釜口水門の維持管理、補修、操作を実施した。(釜口水門に従事する職員に係る人件費)
3	河川整備計画策定	直接	上小圏域、北佐久圏域、木曾川圏域の河川整備計画に必要な調査等を行い、姫川圏域の河川整備計画認可申請に向けた手続き並びに諏訪圏域、飯田圏域、長野圏域の計画変更認可に向けた手続きを実施した。
4	利水者負担金返還金	直接	多目的ダム建設事業の中止に伴う利水者負担金を共同事業者へ返還した。(浅川ダムに関する長野市への返還(R1まで))
5	ダム施設修繕工事	直接	早急に修繕等を要するダム施設において修繕工事等を実施する(横川、箕輪、豊丘、余地、松川、湯川、水上、奈良井、北山及び裾花の各ダム)
6	保守点検等業務委託	委託	マイクロ回線設備、テレメータ、水防情報システムの保守点検及び気象機器検定業務委託を実施した。